

犯罪のない明るい高島市をめざして！ 功労ボランティア団体表彰を受賞されました。



レイクウエストパトロール 青色回転灯 防犯パトロール開始式（10月11日）

10月6日、東京明治記念館で開かれた「全国地域安全運動中央大会」において、市内のパトロールを中心に自主的な防犯活動を展開されていますレイクウエストパトロールが、その功績を認められ、功労ボランティア団体表彰（全国防犯協会連合会長表彰）を受賞されました。

また、10月8日に大津市民会館で開かれた「なくそう犯罪、滋賀安全なまちづくり県民大会」においては、高島市内の1団体4個人が各表彰を受賞されました。

新旭地域を中心に、登下校時の声かけ運動や通学路のパトロールなどを実施されています高島市更生保護女性会新旭支部が滋賀県警察本部長表彰（防犯功労団体）を、同支部の清水裕子さんが滋賀県防犯協会会長表彰（防犯功労者）を受賞されました。

また、長年少年補導員としての職責を果たしてこられた次の3名の方が滋賀県少年補導員会連絡協議会より少年補導功労表彰を受賞されました。

- ・兵藤文江さん（高島市勝野）
- ・杵谷一枝さん（高島市勝野）
- ・中山初子さん（今津町松陽台）

今回受賞されましたみなさんをはじめ、市内では多くの方々が犯罪のない明るい社会づくりを目指して日々活動しておられます。今後ますますのご活躍を期待します。（総合防災課）

雪が降っても、安全な道路であるために 除雪作業にご協力ください

降雪期を迎え、滋賀県および高島市では、道路交通の確保と市民生活の安定を図るため、本年度も積雪時の道路除雪を実施します。除雪作業をより効果的に実施できるよう、次のことに特に留意いただきご理解ご協力をお願いします。

- 路上駐車、路肩駐車は作業の障害となりますので絶対にしないでください。
- 車を運転される方は、冬用タイヤを装備され、時間に余裕をもってお出かけください。
- 降雪により道路に倒れたり、覆い被さる恐れのある竹や木の枝は、降雪時期までに所有者の方で伐採してください。
- 万一の火災に備え、各地区で消火栓や防火水槽の場所を明確にしておいてください。

※除雪作業により、沿道の家等の出入口を雪の塊により多少塞ぐ場合があります。ご迷惑をおかけしますが安全な交通確保のための除雪ですので、ご理解をお願いします。（高島市土木交通部土木課（高島市土木交通部土木課）（高島県事務所建設管理部）



降雪期を迎え、滋賀県および高島市では、道路交通の確保と市民生活の安定を図るため、本年度も積雪時の道路除雪を実施します。除雪作業をより効果的に実施できるよう、次のことに特に留意いただきご理解ご協力をお願いします。

- 日本赤十字社滋賀県支部長表彰
奉仕団功労表彰（40年以上）
今津赤十字奉仕団、朽木赤十字奉仕団、高島赤十字奉仕団
奉仕団員功労表彰（40年以上）
水田はる江さん
奉仕団員功労表彰（30年以上）
河越妙子さん
- 赤十字奉仕団
滋賀県支部委員長表彰
奉仕団員功労表彰
上山睦子さん
岡田明子さん
中村弘美さん
（社会福祉課）

地域を支える1,500人 日本赤十字奉仕団表彰を受賞

10月26日（水）野洲文化ホールで、滋賀県赤十字奉仕団大会が開催されました。この大会は、5年に一度県内の赤十字奉仕団員が会し、奉仕団活動に対する功労者に敬意を表すると共に、新しい活動への契機とするために行われるものです。今年は、滋賀県に赤十字奉仕団が創設されて55周年という節目にあたり、大会が開催されました。市内では、各地区ごとに6つの団があり、約1,500名の団員の方が日々活動をされています。そのなかで、今大会で表彰を受けた方・団をご紹介します。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



- 日本赤十字社表彰
金色有功章
高島赤十字奉仕団
銀色有功章
マキノ赤十字奉仕団、今津赤十字奉仕団、朽木赤十字奉仕団、安曇川赤十字奉仕団、新旭赤十字奉仕団

市長日記



高島時雨の今津スタジアム。ユニフォーム姿の若者が緊張感をみながら準備体操をしている。アメリカ・メジャーリーグで活躍中の大家友和選手ら呼びかけ、高島の地で社会人野球チームを立ち上げていく運びとなり、11月12日のトライアウト（入団試験）に107人も若者が挑戦したのです。夢を叶えるために若者が出て行く姿を見てきましたが、夢を実現するために、大勢の若者が高島の地を目指してやってきたのです。遠投と50m走で約半分の57名に絞られました。わずか数時間のうちに厳しい現実が訪れ、半数の若者が帰っていききました。2次3次選考会に続きます。私も無言の観客の一人となり、色々なことを想像しました。

かつての「くつきの森（朝日の森）」も若者が集ってくる森林文化の聖地。だったことに想いが繋がりました。「くつきの森」再生の作戦会議もたれ、47人の有志が集まりました。小学生が湖上研修する「湖の子」のように、「森の子・山の子」事業を。誰もが楽しめるバリアフリーの森に。疲れた現代人の癒しの場に。関係者が一定の報酬を受け取れる自立経営の仕組みに。土の人と風の人が近づきながら、話し合いました。猪鍋も囲みました。

「歩けなくなると車椅子にお世話になるようになったらお終いと思いませんか。」バリアフリー社会づくりの第一人者、松尾清美先生の言葉です。佐賀から一人で車椅子に乗り、飛行機と電車を乗り継いで颯爽と講演に来てくださいました。車椅子の選び方で自立度が格段に向上する。肘や足部のサポート器具が取れるタイプの車椅子（自

己負担100円アップ）に変えることで、トイレやお風呂、そしてベッドへの移乗がとて容易になる。介助者も腰を痛めることがなくなる。なんと、ビデオ映像を交え説明をしてくださいました。

合わない車椅子に乗ると、体がずり、何度も繰り返すうちに嫌になり「もうベッドで寝させてくれ」となっていくことが多いそうです。体の幅、肘置きの高さや長さを調節し、腰が立つように合わせると、車椅子と便器との高さのバランス、手すりの位置と高さ、トイレのドア幅など一つ一つを改善することで、歩けなくなっても、自立（律）して暮らしていけるとのこと。体のどこかが動きさえすれば、電話を受発信できることも。補助器具や住宅改造によって、今までの経験以上に誇り高く、楽しく生きていけると教えられました。

高島市では、自立支援の住宅リフォーム制度を検討中です。師走を迎えました。大掃除の際に耐震・減災の工夫をお願いします。家具の配置換えや固定、避難路の確保などは是非実行してください。地震保険もご検討ください。

また、「ゴミになるものを買わないようお願いします。ごみを買うことも、出すことも皆さんの懐や税金に直結しています。そして全ては、子どもたちの未来にも。」

新しい年を気持ちよく迎えるために、今年の12月も大事に気張りたいですね。

海東英和 拝

みんなでつくる政策コメント！ 高島市パブリックコメントを実施します。

高島市の重要な政策にかかわる施策等の立案および計画の策定、条例の制定または改廃、公共の用に供される施設の整備等において、市民の皆さんの多様な意見を市政に反映させるために、パブリックコメント手続きを12月1日より制度化します。

- ◆ 意見の提出期間および方法
意見等の提出期間は、公表日を含めて原則30日の期間とします。
- ◆ 意見の提出方法は、郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参等
- ◆ 提出された意見等に対しては
提出された意見の概要および当該意見に対する考え方を公表します。
- ◆ 提出された意見等により原案を修正する場合は、当該修正案についても公表します。

- ◆ パブリックコメント手続の対象となる施策等
市全体または各行政分野における基本的な施策に関する計画、指針等の策定または改定
- ◆ 市政に関する基本方針を定め、または市民に義務を課し、もしくは市民の権利を制限することを内容とする条例（地方税の賦課徴収ならびに分担金、使用料、手数料およびその他金銭徴収に関するものを除く。）の制定または改廃にかかわる案の策定
- ◆ 広く市民等の公共の用に供される施設の施設にかかる基本計画等の策定

- ◆ 公表の方法
市のホームページに掲載するとともに、当該施策等を所管する部局、各支所および分室において閲覧できるようにします。

